

令和4年度(2022年度)鳥取大学医学部附属病院研修プログラム

すべてのプログラムにおいて、必修科で修了認定に必要な項目を経験できない場合は、自由選択期間に当該診療科を選択して経験する。
 すべてのプログラムにおいて、基幹型病院での救急研修を必ず一定期間行うようにする(原則4.4週以上)。
 すべてのプログラムにおいて、研修を行う診療科の順次性は卒業臨床研修センターと相談の上最終的に決定する。

1. 自由選択プログラム(研修例) 募集定員15名

(研修例)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	主な研修病院
一年次	オリエンテーション	必修(内科24.4週)					必修(救急13.2週、外科4.4週、小児科4.4週、産婦人科4.4週、精神科4.4週)						鳥大病院 協力型病院
二年次	必修(地域医療4.4週を含む必修科のうち、1年次未実施の研修)		必修一般外来研修4週	選択科39週									鳥大病院 協力型病院

- 研修科の順番は地域医療研修以外は個人の希望を考慮して編成する。ただし地域医療研修は原則2年目で実施する。
- 原則としてこのプログラムで協力型病院において行う研修は44週までとし、1病院8週以上の期間を研修する。研修協力施設での研修は4週単位も可とする。
- 一般外来研修が地域医療研修等とダブルカウント可能な平行研修となった場合は、一般外来研修の期間を選択科研修にあてる。
- 一般外来研修を平行研修で行う場合(ダブルカウント以外)は救急科以外の研修科実施中に週に1日を外来研修に当てることとする。

自由選択プログラムではこんな研修が可能です!!

- 1年目の最初に、将来の進路に考えている科を回りたい→OKです! ● 地域医療以外の必修科を先にして、必修内科の一部を2年目で研修したい! →OKです!
- 選択科の週数は全部精神科にしたい→OKです! 進路が決まっているなら研修医のうちに専門研修の内容を見据えた研修を行うことができます!!
- 選択科の週数は全て救急科にして、その一部を最初に研修したい→OKです!
- 選択科は将来の進路に関係する科を少しずつたくさん回りたい! →OKです! 協力型病院へは1病院8週以上が条件であり、協力施設へは12週が上限となっていることが条件です

(地域医療研修の例外有り)!!

自由選択の例1: 1科重点プラン(進路が既に決まっています、最初と最後は進路の科で研修したい人:眼科に進むA子さん)

(研修例)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	主な研修病院
一年次	オリエンテーション	眼科7.3週	必修内科15.6週				必修(救急13.2週、外科4.4週、小児科4.4週、産婦人科4.4週、精神科4.4週)						鳥大病院 協力型病院
二年次	必修(地域医療4.4週を含む必修科のうち、1年次未実施の研修)		必修一般外来研修4週	必修内科8.8週		眼科31.7週							鳥大病院 協力型病院

自由選択の例2: いろいろ研修プラン(進路に関連した診療科を沢山研修したい人や進路がまだ絞りきれない、未決定の人:形成外科を考えているB男くん)

(研修例)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	主な研修病院
一年次	オリエンテーション	必修(内科24.4週)					形成外科8.8週		必修(救急13.2週、外科4.4週、小児科4.4週、産婦人科4.4週、精神科4.4週)				鳥大病院 協力型病院
二年次	必修(地域医療4.4週を含む必修科のうち、1年次未実施の研修)			必修一般外来研修4週	耳鼻科4.4週	皮膚科8.8週		消化器外科4.4週	整形外科4.4週	形成外科8.8週			鳥大病院 協力型病院

2. 外科専門プログラム 募集定員4名

(研修例)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	主な研修病院	
一年次	オリエンテーション	外科22週					必修外科4.4週	必修(内科24.4週)						鳥大病院 協力型病院
二年次	必修(救急科13.2週、地域医療4.4週、小児科4.4週、産婦人科4.4週、精神科4.4週)							必修一般外来研修4週	選択科4.4週	外科12.8週			鳥大病院 協力型病院	

- 研修科の順番は地域医療研修以外は個人の希望により編成する。地域医療研修は2年目で実施する。
- 原則としてこのプログラムで協力型病院において行う研修は44週までとし、1病院8週以上を単位として研修する。協力施設での研修は4週単位も可とする。
- 一般外来研修が地域医療研修等とダブルカウント可能な平行研修となった場合は、一般外来研修の期間を選択科研修にあてる。
- 一般外来研修を平行研修で行う場合(ダブルカウント以外)は救急科以外の研修科実施中に週に1日を外来研修に当てることとする。

3. 精神科プログラム 募集定員2名

(研修例)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	主な研修病院	
一年次	オリエンテーション	必修(内科24.4週)					必修(救急13.2週、外科4.4週、小児科4.4週、産婦人科4.4週、精神科4.4週)							鳥大病院 協力型病院
二年次	必修(地域医療4.4週を含む必修科のうち、1年次未実施の研修)		必修一般外来研修4週	選択科4.4週	精神科34.8週								鳥大病院 協力型病院	

- 研修科の順番は地域医療研修以外は個人の希望を考慮して編成する。ただし地域医療研修は原則2年目で実施する。
- 原則としてこのプログラムで協力型病院において行う研修は44週までとし、1病院8週以上を単位として研修する。協力施設での研修は4週単位も可とする。
- 一般外来研修が地域医療研修等とダブルカウント可能な平行研修となった場合は、一般外来研修の期間を選択科研修にあてる。
- 一般外来研修を平行研修で行う場合(ダブルカウント以外)は救急科以外の研修科実施中に週に1日を外来研修に当てることとする。

裏面へ続く!

4. 小児科系プログラム 募集定員2名

(研修例)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	主な研修病院
一年次	オリエンテーション	必修(内科24.4週)					必修(救急13.2週、外科4.4週、小児科4.4週、産婦人科4.4週、精神科4.4週)					鳥大病院 協力型病院	
二年次	必修(地域医療4.4週を含む必修科のうち、1年次未実施の研修)		必修一般外来研修4週	選択科4.4週	小児科(小児科・脳神経小児科)34.8週								鳥大病院 協力型病院

- 研修科の順番は地域医療研修以外は個人の希望を考慮して編成する。ただし地域医療研修は原則2年目で実施する。
- 原則としてこのプログラムで協力型病院において行う研修は44週までとし、1病院8週以上を単位として研修する。協力施設での研修は4週単位も可とする。
- 一般外来研修が地域医療研修等とダブルカウント可能な平行研修となった場合は、一般外来研修の期間を選択科研修にあてる。
- 一般外来研修を平行研修で行う場合(ダブルカウント以外)は救急科以外の研修科実施中に週に1日を外来研修に当てることとする。

5. 産科婦人科プログラム 募集定員2名

(研修例)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	主な研修病院
一年次	オリエンテーション	必修(内科24.4週)					必修(救急13.2週、外科4.4週、小児科4.4週、産婦人科4.4週、精神科4.4週)					鳥大病院 協力型病院	
二年次	必修(地域医療4.4週を含む必修科のうち、1年次未実施の研修)		必修一般外来研修4週	選択科4.4週	産科婦人科34.8週								鳥大病院 協力型病院

- 研修科の順番は地域医療研修以外は個人の希望を考慮して編成する。ただし地域医療研修は原則2年目で実施する。
- 原則としてこのプログラムで協力型病院において行う研修は44週までとし、1病院8週以上を単位として研修する。協力施設での研修は4週単位も可とする。
- 一般外来研修が地域医療研修等とダブルカウント可能な平行研修となった場合は、一般外来研修の期間を選択科研修にあてる。
- 一般外来研修を平行研修で行う場合(ダブルカウント以外)は救急科以外の研修科実施中に週に1日を外来研修に当てることとする。

6. 救急・集中治療医プログラム 募集定員2名

(研修例)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	主な研修病院
一年次	オリエンテーション	必修(内科24.4週)					必修(救急13.2週、外科4.4週、小児科4.4週、産婦人科4.4週、精神科4.4週)					鳥大病院 協力型病院	
二年次	必修(地域医療4.4週を含む必修科のうち、1年次未実施の研修)		必修一般外来研修4週	選択科4.4週	救急科34.8週								鳥大病院 協力型病院

- 研修科の順番は地域医療研修以外は個人の希望を考慮して編成する。ただし地域医療研修は原則2年目で実施する。
- 原則としてこのプログラムで協力型病院において行う研修は44週までとし、1病院8週以上を単位として研修する。協力施設での研修は4週単位も可とする。
- 一般外来研修が地域医療研修等とダブルカウント可能な平行研修となった場合は、一般外来研修の期間を選択科研修にあてる。
- 一般外来研修を平行研修で行う場合(ダブルカウント以外)は救急科以外の研修科実施中に週に1日を外来研修に当てることとする。

7. 山陰たすきがけプログラム 募集定員12名

(研修例)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	主な研修病院
一年次	オリエンテーション	必修(内科24.4週)					必修(救急13.2週、外科4.4週、小児科4.4週、産婦人科4.4週、精神科4.4週)					原則 協力型病院	
二年次	必修(地域医療4.4週を含む必修科のうち、1年次未実施の研修)		必修一般外来研修4週	選択科39週								鳥大病院 協力施設	

- 研修科の順番は地域医療研修以外は個人の希望を考慮して編成する。ただし地域医療研修は原則2年目で実施する。
- 1年目に選択科研修を実施又はオリエンテーションの期間増等で必修科の研修期間が不足する場合は2年目の選択科研修期間を使って必修科研修を行う。
- たすきがけ可能な協力型病院は、鳥取県立中央病院、鳥取赤十字病院、鳥取県立厚生病院、山陰労災病院、米子医療センター、松江赤十字病院、松江市立病院、島根県立中央病院、浜田医療センター、津山中央病院で、原則1年目に協力型病院で研修を行うものとし、マッチング後に決定する。
- 一般外来研修が1年目で可能な場合は協力型病院で実施する。
- 2年目に地域医療研修を行う場合で、一般外来研修が地域医療研修等とダブルカウント可能な平行研修となった場合は、一般外来研修の期間を選択科研修にあてる。
- 必修の救急科研修については、ブロック研修のほか、宿日直で救急科研修とする場合は20回で4週とみなす。

8. 関西たすきがけプログラム 募集定員5名

(研修例)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	主な研修病院
一年次	オリエンテーション	必修(内科24.4週)					必修(救急13.2週、外科4.4週、小児科4.4週、産婦人科4.4週、精神科4.4週)					原則 協力型病院	
二年次	必修(地域医療4.4週を含む必修科のうち、1年次未実施の研修)		必修一般外来研修4週	選択科39週								鳥大病院 協力施設	

- 研修科の順番は地域医療研修以外は個人の希望を考慮して編成する。ただし地域医療研修は原則2年目で実施する。
- 1年目に選択科研修を実施又はオリエンテーションの期間増等で必修科の研修期間が不足する場合は2年目の選択科研修期間を使って必修科研修を行う。
- たすきがけ可能な協力型病院は、田附興風会医学研究所北野病院、大阪警察病院、大阪労災病院、関西労災病院で、原則1年目に協力型病院で研修を行うものとし、マッチング後に決定する。
- 一般外来研修が1年目で可能な場合は協力型病院で実施する。
- 2年目に地域医療研修を行う場合で、一般外来研修が地域医療研修等とダブルカウント可能な平行研修となった場合は、一般外来研修の期間を選択科研修にあてる。
- 必修の救急科研修については、ブロック研修のほか、宿日直で救急科研修とする場合は20回で4週とみなす。